

三小タイムズ

令和2年9月28日発行 校長 辻 久恵

道徳科授業（3年3組）

主題名 自分とちがう意見も

教材名 日曜日の公園で 出典 光村図書

内容項目 B 相互理解、寛容

本時のねらい

何をして遊ぶか意見が食い違う「ぼく」と「たくや」の姿を通して、意見が対立した時にどのようなことを心がけるとよいか考えさせ、それを実践していこうとする意欲と態度を育てる。

学習の展開

- 「友達と意見が違ってけんかになってしまったこと」について考える。
 - ・友達と意見が違って、けんかになってしまったことはありますか。
 - 「日曜日の公園で」を聞いて話し合う。
 - ・たくやに「ゲームをやめて走って遊ぼう」と言われた時、ぼくはどういう思いだったでしょう。
 - ・たくやはどんな思いで「みんなで走って遊ぼう」と言ったのでしょうか。
- 【ぼくとたくやのやりとりを動作化する。】



- ・どうしてけんかになったのでしょうか。
- ☆意見が違うから
- ☆納得しなかったから
- ☆譲らなかったから
- ・友達と意見が違った時、けんかにならないためにはどんなことが大切でしょう。
- 教師の説話を聴く。
- ・先生が小学生の時、同じことがありました。

